



認定特定非営利活動法人 2017.2.17 Vol.110

日本災害救援ボランティアネットワーク
Newsletter

響想の社会をめざして

1.17被災地交流会in西宮

1月16日(月)18時30分から、西宮市勤労会館の会議室にて、『1.17被災地交流会in西宮』を、西宮市委託事業として開催させていただきました。阪神淡路大震災から22年目をむかえる本年は、これまで交流を続けてまいりました東日本大震災



の被災地である岩手県野田村や中越沖地震の被災地の刈羽村に加え、昨年4月に発生した熊本地震の被災地、益城町からもご参加いただくことができました。

第1部では、野田村よりチーム北リアスの貫牛様、熊本からは益城町社会福祉協議会の國元事務局長と熊本学園大学の照谷様にお越しいただき、各被災地における活動や近況などについて、スライドを使ってご報告いただきました。それぞれの被災地における実体験をうかがえることは、支援活動を行う我々にとって大変有意義なことであり、また今後の災害に対する備えとしても大変意味のあるものだと感じております。その他にも、今年の台風10号により被害を受けた岩手県岩泉町の支援に携わられた弘前大学の李先生からのご報告に加え、NVNADからは理事の米山が野田村への支援活動についてお話をいただきました。

第2部は交流会を開催。熊本県益城町にあるテクノ仮設団地の集会所とスカイプ中継を行い、益城町の子供たちとバスツアーで西宮を訪問中の岩手県野田村の子供たちとのやりとりが実現しました。また、益城町社会福祉協議会の緒方次長や益城町で被災された矢野様、支援に関わっている大阪大学の崎浜君から現状や活動報告をうかがいました。

最後に、新潟県中越沖地震の被災地である刈羽村社会福祉協議会の武本会長と辻之内様から中越沖地震の10周年事業について案内をしていただき、交流会をしめくくりました。このような機会が、今後も被災地のリレーを継続していくきっかけになればと考えております。遠路はるばる西宮にお越しくださった皆様、本当にありがとうございました。(事務局)

- c o n t e n t s -

- P 1 1.17被災地交流会in西宮
- P 2 熊本地震支援活動報告 / KSNプロジェクト
- P 3 VISION117 / 防災ふれあいウォーク
- P 4 子ども防災クラブ / 佐用町訪問
- P 5 野田村子どもたち西宮招待事業 / ぼうさい探検隊マップコンクール表彰式
- P 6 イザ!美かえる大キャラバン / カレンダー市
- P 7 Nうごき / Nごよみ
- P 8 Nごよみ(続き) / 会員・寄付者・募金者のみなさま / 編集後記

熊本地震 活動報告

「市だご」づくり教室 安永仮設団地

11月19日、NVNADは、益城町木山地区の郷土料理「市だご」を、安永仮設団地にお住まいの住民から習う、「市だごづくり教室」を開催しました。震災から7ヶ月が経過し、仮設住宅での生活にも徐々に慣れてきた被災者も多く、中には、ボランティアに与えてもらうばかりではなく、自ら主体的に何かコミュニティ作りにも寄与したいという思いを持つ方も出てきました。そこで、今回は、地域の年配の方を「先生」に、ボランティアやその他の住民を「生徒」にして、市だごの作り方を学び、実践し、最後は皆で食べる「市だごづくり教室」を開催しました。活動には、総勢21人が参加し、100個の市だごを作り、おいしくいただきました。参加者からは、「これを前から作りたかったんよ。」や、「私はもともと地域が木山じゃなかけん、作り方を知れて良かった。」と、安永仮設団地だからこそ、このような機会が持てたというような声もあり、コミュニティ作りという観点から見ても、大変意義のある活動になりました。



市だごとは、毎年3月初めに木山地区で開催される「初市」で作られる団子が、各家庭に広まって作られるようになった団子のことを言い、約200年の歴史がある伝統的な甘味です。うるち米ともち米の米の粉から作った団子をおんこで包めば出来上がりです。今回は、91歳のおばあちゃんに「先生」になっていただき、市だごを作ったことのない他の住民やボランティアは、「生徒」になっていただきました。「生徒」と言っても、70代や80代の住民の方も多く、やり方さえわかれば手慣れた手つきでどんどんと作られました。市だごが出来上がると、皆でいただきましたが、団子の弾力もちょうどよく、おんこと絡んで非常においしかったです。会話も弾み、市だごづくり教室は大盛況のうちに終わることができました。



今回、必要な材料は、NVNADが用意させていただきましたが、イベントの進行などは、集まった参加者のペースに任せて、自由に行われました。そうすることで、参加者が主体的にイベントに関わることができ、あちらこちらで活発な会話が飛び交い、たくさんの笑顔が花を咲かせました。熊本地震の仮設団地は、様々な地域から入居されており、コミュニティをどう作っていくかが、今後の復興に重要です。今回のような取り組みを通じてコミュニティが少しずつ出来ていき、地域住民からの内発的な復興につながることを願っています。今後も、NVNADは、復興過程の様々な段階に応じて、被災者のみなさまの復興を支援していきたいと思っております。（事務局）



KSNプロジェクト

「クリスマス会」



12月22日（木）の夜、関学会館のホールにてKSN（西宮市社会福祉協議会、関西学院大学、NVNAD）の3者が主催となりクリスマス会を開催しました。

学生リーダーを含め総勢約80名で、立食パーティ形式で食事をいただきながら、途中学生によるゲームや歌、また、サンタさんからのプレゼントなどたくさんの出し物がありました。参加した子どもたちや保護者の皆様も、楽しいひと時を過ごしていただけたのではないかと思います。（事務局）



VISION 117

年末、本務校の大学での講義で、「1.17を想う」というエッセイを書く課題を出しました。多くの受講生は、22歳以下。提出された文章を読むと、「1月17日って何の日かわからなかった」という書き出しで始める学生さんが多くいました。一方、この課題を機に、自分を身ごもっていた母親が、いかにして自分を守ってくれたかということを知ったという学生もいました。阪神・淡路大震災から22年。NVNADでは、今年も東北、新潟、そして熊本からK O B Eに想いを馳せてくださる方々をお招きし、それぞれの想いを語り、交流させて頂きました。一方、若い人たちにとって、1.17は、もはや歴史上の1点にすぎず、

言われなければ思い出せない日だということも現実だと思い知りました。それも自然な現象なのかもしれません。実際、私が生まれた当時に開かれた東京オリンピックや、生まれる少し前の60年安保は、私にとって、恥ずかしながら、歴史上の1点になってしまうこともあるのが、正直なところだからです。ただ、多くの学生さん達は、積極的に知ろうという姿勢を示してくれました。1.17について、ネットで調べ、写真集を見て、本を読み、映画を観て、音楽を聴き、詩を読んでくれました。そして、感じ入り、考えを深めてくれたようです。22年が過ぎても、いや、何年が過ぎても、問われれば応えられるように、準備しておくこと。そして、伝わるかどうかはわからないけれども、伝え続けること。そんな基本的なことの大切さが身にしみた1.17でした。

(理事長 渥美 公秀)

防災ふれあいウォーク



11月13日(日)、西宮にある武庫川女子大学において、恒例となりました『防災ふれあいウォーク』を開催しました。テーマは「津波災害から自分自身や地域を守るために！」で、このイベントを通じて、楽しみながら、津波災害や日頃の備えなどについて一緒に考えていただくことを目的に実施しました。今回も武庫川女子大学の文学部 心理・社会福祉学科 心理コース2年の「レクリエーションの企画と運営」という授業の一環として取り組んでいただきました。

参加者は、鳴尾浜にある総合スタジアムに集合し、津波災害の話からプログラムがスタート。続いて学生による防災クイズに挑戦してもらい、その後、準備体操を行ってからウォークラリーに移りました。各チェックポイントでは地震や津波に関するクイズ問題にチャレンジしてもらい、ゴールの栄養科学館を目指しました。また、歩いている途中で災害や防災面で気になるところがあればカメラで写真撮影するという課題を出しました。

ゴールの栄養科学館では、各協賛企業(大塚製薬、江崎グリコ、アルファー食品、カゴメ、ミツレフーズ、ファシル)による災害食の展示コーナーを試食・見学してまわったのち、ウォークラリーの途中で撮影した写真の紹介をしていただきました。その後、熊本地震の被災状況について、スライドにて説明させていただきました。今回の目玉プログラムとして、プログラム途中の防災クイズにチャレンジしていただいた時に、ビンゴカードを用いてクイズの答えや学生の名前などで空欄を埋め、最後に栄養科学館でビンゴ大会をやるという工夫も学生さんが考えてくださり、とても楽しいプログラムになったのではないかと思います。武庫川女子大学の皆様をはじめ、各協賛企業の皆様、また、当日お手伝いいただいたボランティアの皆様、心よりお礼申し上げます。(事務局)



子ども防災クラブ 『クロスロード』体験

12月17日(土)、高木小学校にて、第4回子ども防災クラブの活動を行いました。防災ゲーム『クロスロード』を3班に分かれて実施しました。西宮市社会福祉協議会と高木分区の皆様にもご協力いただき、事前に一緒に問題を考えたり、当日班に入って子どもたちと一緒に問題にチャレンジしていただきました。問題は「夜中に大雨が降り、2階建ての家の1階の自分の部屋にいましたが、膝まで水が入ってきました。避難警報はまだ出ていません。さて、あなたは避難所に行きますか？2階に上がって様子を見ますか？」という想定で、自分なら 避難所に行く = YES、2階に上がる = NO、というようにYESとNOのカードを出してもらい、それぞれの意見を班で出しました。正解のない『クロスロード』。子ども達も高木分区の皆様も真剣な表情で取り組んでいました。



『防災カードゲーム』体験

1月28日(土)高木小学校にて、第5回子ども防災クラブの活動を行いました。防災カードゲーム『シャッフル』を使用し、頭と体を使った学生リーダー考案のオリジナルプログラムに挑戦しました。テーマに沿った4枚のカードをいかに早く見つけだし、正確な順番に並べられるかを競うゲームでしたが、4チームの対抗戦にしたこともあり、子どもたちは本気モードで取り組んでいました。12のテーマが終わったところで、テーマのひとつである『毛布を使った担架づくり』にチャレンジしました。身近な物を使用してできる防災グッズに子ども達のテンションも上がり、「家に帰ったら、早速やってみる！」と張り切っていました。今後も様々な工夫をして、子ども達に楽しんでもらいたいと思いました。(事務局)



佐用町訪問

佐用町の『久崎市』に参加

12月25日(日)、兵庫県佐用町で恒例となりました地元のお祭り『久崎市』が開催され、チャコネットのメンバーと一緒に参加しました。ステージあり、露店あり、マスコットキャラクターの登場ありと、とてもいい雰囲気で楽しさいっぱいのお祭りでした。チャコネットのメンバーは、休憩所を兼ねたコミュニティカフェの運営を手伝っていました。お天気も良く、地元の皆さんと交流も図れて、有意義な場に参加させていただきました。久崎の皆様には感謝申し上げます。(事務局)



第5回 野田村の子どもたち西宮招待事業

(にしのみや遊び場つくろう会協力)

今回は募集の倍の応募があり、貸し切りバスを使って全員で行くことになりました。そしてこれまでは私が野田村への送迎をしていましたが、今回は野田村の保護者だけが付添い往復することになりました。また初回、中3で参加した大学生がボランティアとして参加。1月15日～17日に小学生12人、中学生7人、大学生1人、保護者6人の計26人が西宮を訪れました。

<1/15> USJで遊ぶ：14日の夕方野田村を出発し到着は雪で大幅に遅れましたが、西宮の中高生や保護者と一緒に閉園までUSJを満喫しホームステイ先に宿泊

<1/16> 午前中は西宮市立山口中学校での歓迎会に参加。全校生徒が見守る中、体育館舞台上で野田中生が生徒会の質問に答えました。会場の後ろで見守っていた小学生や保護者にも質問があり、和やかな交流になりました。

午後は国有地プレパークで子どもたちは思いっきり遊び、保護者は買い物などを楽しみました。保護者の一人で野田村役場の小野寺さんは、**西宮市浜脇地区青少年愛護協議会**に出席し、野田村の現状を話しました。また中学生と、大学生の菊池君、小野寺さんが**西宮市副市長、教育長と懇談**。菊池君は大学の専攻を決める際、中学の時に西宮に来たこともきっかけになっていると話しました。

夜はNVNAD主催の被災地交流会に参加。西宮の子どもや保護者、熊本地震や中越地震の被災地からの人々と交流しました。

<1/17> 全員で西宮市慰霊碑公園に行き、記帳と献花をしました。この様子は岩手日報でも報道されました。

今回の交流事業を終えて、継続することの大切さを再確認するとともに、野田村と西宮双方の子どもたちの成長を感じました。今回の報告を2月5日に野田村で行う予定です。(NVNAD理事 米山清美)



ぼうさい探検隊マップコンクール表彰式

1月21日、第13回小学生のぼうさい探検隊マップコンクールが、東京の損保会館で開催されました。今年は、応募総数2,871作品、参加人数19,158人と、過去最高の拡がりを見せました。NVNADは、自分たちの街を愛していることがよく表されているマップに「わが街再発見賞」を授与していますが、今年は、北海道の「札幌南区川沿少年消防クラブ」様に賞状と副賞をお渡ししました。地図には、自分たちの街で出逢うヒグマの生態や活動範囲について、地元の方々に丁寧に聴いた内容が整理されていました。そして、ヒグマと共生していくわが街を子ども達の視点から丁寧に描いていました。授賞式では、少し緊張気味の児童の姿が初々しく感じられました。地道な活動ではありますが、今年で13回。継続は力なりということを感じました。(事務局)



「イザ！美かえる 大キャラバン！2017」

1月29日(日) 神戸市のJICA関西において、毎年恒例となりましたNPO法人プラス・アーツ主催の「イザ！美かえる大キャラバン！2017」が開催され、NVNADも参加しました。兵庫県佐用町特産品の竹炭を使った【竹炭石けんづくり】をボランティアさんと一緒に実施し、約3時間の間に述べ180名ほどの方に体験していただきました。石鹸の素地に竹炭の粉とお湯を入れ、捏ねていくと出来上がる竹炭石鹸に、3才の子どもや保護者の方まで皆さん熱心に挑戦して下さいました。中には、海外からJICA日本に研修に来られている外国人グループの参加もあり、様々な方にNVNADの活動や佐用町水害の被災地の様子をPRすることができました。お手伝い下さいましたボランティアの方々、ありがとうございました。(事務局)



第21回

チャ

リ

ティ

カレンダー市

1月7日(土)～9日(月・祝)の3日間、恒例となりました「第21回チャリティカレンダー市」を西宮市役所東館8階の大ホールにて開催させていただきました。1月5日(木)と6日(金)の2日間がカレンダーの受入日でしたが、今回も全国の企業や個人の皆様から昨年と同じくらいたくさんのカレンダーや手帳が届きました。

1月7日(土)の初日は朝10時のオープンにも関わらず、朝早くから入り口に並ばれていました。10時のオープンと同時に会場内はすぐに満員になり、安全面に配慮して入場制限を行いました。例年でしたら昼頃には廊下で待っている行列が途切れるのですが、翌日の雨予報もあり、15時過ぎまで行列が続きました。2日目は雨の影響で来場者は少なめで、3日目は「えべっさん」のお陰か最終日には多くの方にお越しいただきました。

3日間の売上は、合計1,516,200円となりました。この売上は、熊本地震をはじめ、東日本大震災や佐用町、丹波市などの被災地の支援活動に有効に活用させていただきたいと思っておりますし、また、今後予期せぬ災害が発生した場合に、先遣隊の初期費用の一部として活用させていただければと思っています。今年で21回目を数えますが、このカレンダー市が開催できますのも、多くのボランティアの皆様のご協力のお陰と感謝しています。最後になりましたが、カレンダーをご寄贈いただいた企業・個人の皆様、当日会場にお越しくださった皆様、そして、開催にあたり陰ながらご支援くださった西宮市職員の皆様にも、この場をお借りしてお礼申し上げます。(事務局)



Nうごき

NVNADの活動をお知らせするコーナーです。

11月

- 1日 西宮市防災訓練（西宮市）
- 3～5日 郡山市訪問（福島県）
- 13日 防災ふれあいウォーク（西宮市）
- 13日 第1回災害ボランティアコーディネーター養成講座（三重県伊勢市）
- 17日 ニュースNo.109発行
- 19日 第2回災害ボランティアコーディネーター養成講座（三重県伊勢市）
- 23日 災害ボランティア養成講座「入門編」（大阪府岬町）
- 26日 KSNプロジェクト学習会（大阪府）
- 27日 佐用町訪問（兵庫県）
- 30日 ボランティアプラザ研修会（兵庫県）

12月

- 2日 災害ボランティア養成講座「レベルアップ編」（大阪府岬町）
- 3日 市川町災害ボランティア講座（兵庫県）
- 5日 ぼうさい探検隊本審査会（東京都）
- 8日 近畿ろうきん但馬支店研修会（兵庫県豊岡市）
- 10日 よどがわ防災まつり（大阪府枚方市）
- 12日 柏原市災害ボランティアコーディネーター養成講座（大阪府）
- 13日 大東市災害ボランティア講座（大阪府）
- 14日 八尾市災害ボランティア講座（大阪府）
- 17日 第4回子ども防災クラブ（西宮市）
- 22日 KSNプロジェクト交流会（西宮市）
- 25日 佐用町「久崎市」に参加（兵庫県）

1月

- 7～9日 第21回チャリティカレンダー市（西宮市）
- 12日 ひょうごん賀詞交歓会（神戸市）
- 14日 はらっぱ保育所震災関連イベント（西宮市）
- 15～17日 1.17事業「被災地交流会 in 西宮&野田村子ども招待事業」（西宮市）
- 20日 尼崎第2連協防災マップ(尼崎市)
- 21日 ぼうさい探検隊マップコンクール表彰式（東京都）
- 23日 近畿ろうきん熊本地震シンポジウム（大阪市）
- 28日 第5回子ども防災クラブ（西宮市）
- KSNプロジェクト交流会（西宮市）
- 平木小学校防災キャンプ（西宮市）
- 29日 「イザ！美かえる大キャラバン！2017」に参加（神戸市JICA）



Nごよみ

今後の予定・講演などのスケジュール

2月

- 5日 チーム北リアス会議（東京）
- 11日 佐用町訪問（兵庫県）
- 12日 野田村ファンクラブ（西宮市）

- 16日 門真市災害防災研修会（大阪府）
 17日 ニュースNo.110発行
 18日 天王寺災害ボランティア講座（大阪市）
 25日 ふれぼの防災イベント（西宮市）
 26日 西宮コミュニティ協会講演会（西宮市）
- 3月
- 4日 親子でわがまち探検隊（西宮市）
 子ども防災クラブ（西宮市）
 4～5日 佐用町訪問（兵庫県）
 10～12日 郡山市訪問（福島県）
 25日 NPOフェスティバルに出店（西宮市）
- 4月
- 2日 佐用町桜まつり（兵庫県）
- 5月
- 17日 ニュースNo.111発行



～会員・寄付者・募金者のみなさま～

■継続会員のみなさま（2016年11月1日～2017年1月31日）

個人正会員：「継続」山下佳子、片岡春樹、定藤美雪

個人賛助会員：「継続」平崎百合子

■寄付者のみなさま（2016年11月1日～2017年1月31日）

「一般」：近畿ろうきんNPO寄付システム契約者の皆様、戸口京子

平崎百合子、定藤美雪

ソフトバンクかざして募金（寄付者）の皆様

■募金者のみなさま（2016年11月1日～2017年1月31日）

「東日本大震災」グッドスナカヤマヨシ、岩谷亜紀

「平成28年熊本地震」山下佳子、大里恵子、今井千郎、津市ボランティア協議会
 カレンダー市にご来場の皆様

■ご協力いただいたみなさま

株式会社高山堂

（順不同、敬称略）

ご支援、ご協力ありがとうございました。

尚、振込み頂いた方につきましては、振込名でご紹介させていただきましたのでご了承下さい。

編集後記

最近、果物の「ゆず」にはまっています。高知県や徳島県、あるいは、和歌山県などが産地としては有名ですが、「ゆず」の効能は意外にも色々あるようです。災害や防災の視点をちょっと変えて、各被災地の名産にも目を向けながら、何かユニークな取り組みで災害に強いまちづくりにつなげていけないかと構想は膨らみます。（H・T）

認定特定非営利活動法人 日本災害救援ボランティアネットワーク〔NVNAD〕

〒662-0854 兵庫県西宮市櫛塚町2番20号 西宮商工会館南館 TEL0798(34)9011 FAX0798(34)9022

http://www.nvnad.or.jp/ 発行人：渥美公秀 編集人：伴美代子